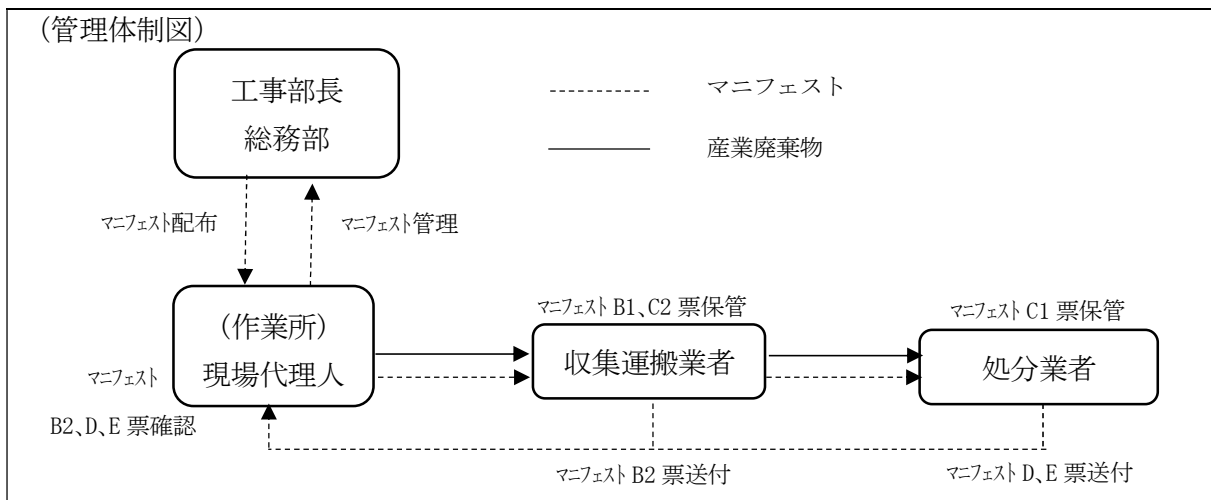


(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 6年 5月 17日</p> <p>石川県知事 馳 浩 殿</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">提出者 住 所 石川県小松市軽海町56番地1 氏 名 本建設工業 株式会社 代表取締役 本 均 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0761-47-0001</p> <p style="margin-top: 10px;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>															
事業場の名称	本建設工業 株式会社														
事業場の所在地	石川県小松市軽海町56番地1														
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日														
当該事業場において現に行っている事業に関する事項															
① 事業の種類	D建設業 06総合建設業														
② 事業の規模	元請完成工事高(令和5年度) 112,380万円														
③ 従業員数	12人														
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">全量委託処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>圧縮 → 再生(製紙、燃料)</td> </tr> <tr> <td>伐採材・伐根材</td> <td>分別 → 破碎 → 再生(チップ)</td> </tr> <tr> <td>がれき類(コンクリート・アスファルト)</td> <td>破碎 → 再生(碎石)</td> </tr> <tr> <td>紙くず</td> <td>破碎 → 再生</td> </tr> <tr> <td>ガラスくず・陶磁器くず</td> <td>破碎 → 埋立</td> </tr> <tr> <td>金属くず</td> <td>破碎 → 圧縮 → 再生</td> </tr> </table>	全量委託処理		廃プラスチック類	圧縮 → 再生(製紙、燃料)	伐採材・伐根材	分別 → 破碎 → 再生(チップ)	がれき類(コンクリート・アスファルト)	破碎 → 再生(碎石)	紙くず	破碎 → 再生	ガラスくず・陶磁器くず	破碎 → 埋立	金属くず	破碎 → 圧縮 → 再生
全量委託処理															
廃プラスチック類	圧縮 → 再生(製紙、燃料)														
伐採材・伐根材	分別 → 破碎 → 再生(チップ)														
がれき類(コンクリート・アスファルト)	破碎 → 再生(碎石)														
紙くず	破碎 → 再生														
ガラスくず・陶磁器くず	破碎 → 埋立														
金属くず	破碎 → 圧縮 → 再生														

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（令和5年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	「別紙1」のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物が混ざらないように、置き場所を設定する。 ・ 廃棄物に付着した土砂等はなるべく落とし、減量化を図る。 ・ 設計数量を把握し、過度な排出を抑えた施工を行う。 ・ 廃棄BOXに入れる廃棄物の種類を限定する。 ・ 定期的に廃棄物BOXの確認を行う。		
② 計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	「別紙1」のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記(これまでに実施した取組)についても継続して行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物の種類ごとの置き場所を設定、掲示する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 各現場での分別方法を設定し、新規入場者や安全訓練時に周知徹底を行なう。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙2」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・処分業者選定時に、再生利用業者を優先して委託する。 ・電子マニフェストを積極的に利用する。		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	「別紙2」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記(これまでに実施した取組)についても継続して行う。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙1】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	① 現 状		② 計 画	
	【前年度(令和5年度)実績】		【 目 標 】	
がれき類 (アスファルト)	排出量	325.11 t	排出量	260.0 t
がれき類 (コンクリート)	排出量	908.32 t	排出量	720.0 t
がれき類 (その他)	排出量	6.07 t	排出量	4.0 t
木くず	排出量	143.17 t	排出量	113.0 t
廃プラスチック類	排出量	25.85 t	排出量	20.0 t
紙くず	排出量	0.92 t	排出量	0.5 t
ガラス・陶磁器くず	排出量	1.51 t	排出量	1.0 t
金属くず	排出量	2.03 t	排出量	1.5 t

【別紙 2】

	① 現状 【前年度(令和5年度)実績】				② 計画 【目標】			
	全処理委託量				全処理委託量			
	優良認定処理業者 への処理委託量	再生処理業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量	再生処理業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量
がれき類 (アスファルト)	325.11 t				260.0 t			
	0.0 t	325.11 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	260.0 t	0.0 t	0.0 t
がれき類 (コンクリート)	908.32 t				720.0 t			
	0.0 t	908.32 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	720.0 t	0.0 t	0.0 t
がれき類 (その他)	6.07 t				4.0 t			
	6.07 t	6.07 t	0.0 t	0.0 t	4.0 t	4.0 t	0.0 t	0.0 t
木くず	143.17 t				113.0 t			
	4.29 t	143.17 t	0.0 t	0.0 t	10.0 t	113.0 t	0.0 t	0.0 t
廃プラスチック類	25.85 t				20.0 t			
	17.01 t	25.85 t	0.0 t	0.0 t	15.0 t	20.0 t	0.0 t	0.0 t
紙くず	0.92 t				0.5 t			
	0.15 t	0.92 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	0.5 t	0.0 t	0.0 t
ガラス・陶磁器	1.51 t				1.0 t			
	0.0 t	1.51 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.0 t	0.0 t	0.0 t
金属くず	2.03 t				1.5 t			
	0.0 t	2.03 t	0.0 t	0.0 t	0.5 t	1.5 t	0.0 t	0.0 t